

板橋区公式ホームページ及び区民の声収集システムのリニューアルについて

板橋区公式ホームページ及び区民の声収集システムについて、下記のとおり、リニューアルを行い、公開する。

記

1 概要

板橋区公式ホームページは、最新の区政情報をはじめ、災害時の緊急情報の提供や施設の利用申請等、あらゆる行政活動を網羅しており、区内外を問わず、広く利用されている。

また、区のブランド力や選ばれるまちとしてのイメージ向上に資する魅力を広く発信していくうえでも、重要かつ不可欠な媒体である。

そのため、誰もが、いつでも、容易に情報を取得しやすい環境を整備することが必要であり、高度情報化の進展や社会環境の変化に対応したホームページを公開することが強く求められている。

また、区政に関する質問や意見は、ホームページを通じ、スマートフォン等の媒体から寄せられることが増加している。

そこで、新たな CMSⁱを導入し、最適なホームページ及び区民の声収集システムを構築するとともに、区民等からの声をより区政へ反映できるよう、両システムの連携を図ったホームページを公開し運用する。

2 リニューアルの方針

- (1) ウェブアクセシビリティⁱⁱの確保と向上
- (2) ユーザビリティの向上
- (3) 区の魅力の積極的な発信
- (4) 災害・緊急事態への対応強化
- (5) 広聴機能の向上

3 新たな機能・改善点等

[ホームページ]

- (1) ウェブアクセシビリティの確保と向上

① ウェブアクセシビリティ方針の策定、公開

高齢者や障がい者を含めて、誰もが情報や機能を支障なく利用できるよう見やすさ、操作しやすさ、解りやすさ等の基準を定めたホームページに関する JIS 規格（JIS X 8341-3:2016）の適合レベル AAⁱⁱⁱに対応することを目標とし、「板橋区ウェブアクセシビリティ方針」【別紙1】を定め、ウェブアクセシビリティに配慮したホームページの運用を行う。

② ウェブアクセシビリティガイドラインの作成、運用

ウェブアクセシビリティガイドライン及び表記ルールを定め、これに基づき、掲載記事を作成するとともに、CMS上にアクセシビリティチェック機能を付与することにより、ウェブアクセシビリティの確保、向上を図る。

(2) ユーザビリティの向上

① 検索しやすい構成

利用者の視点に立ち、ページの構成や情報分類を全面的に点検し、改善する。併せて、閲覧の多寡や更新状況を分析し、古い情報の削除や見直し、掲載記事の移行、刷新を行うことで、検索しやすく、遷移のしやすい画面構成を実現する。

※トップページ（パソコン版）デザイン案【別紙2】

② スマートフォン対応

パソコンからの閲覧者が約3割に対し、スマートフォン、タブレット端末からの閲覧者が約7割であるため、CMSでページ作成中にスマートフォン版プレビューを見ることができる機能を装備することで、様々な媒体からでも閲覧をしやすくする。

※トップページ（スマートフォン版）デザイン案【別紙3】

③ 管理・運用機能の強化

ア 掲載記事を作成する職員の操作性、表現性の向上を図るため、ウェブアクセシビリティや操作に関する研修を行う。

イ ページ作成後、作成者、係長、所属長と3段階の回付ルートを設定し、画面上での電子決裁を可能とし、公開前のチェック強化とペーパーレス化を図る。

ウ 現在、独自で運用している、美術館、郷土資料館、図書館のページを新ホームページのサイト内で運用することで、統一性を図る。

※図書館の蔵書検索・予約システムは、現行の外部サイトで運営

④ インターネット通信の暗号化（SSL^{iv}化）

ホームページと閲覧者との通信のセキュリティを強化し、サイトの安全性、信頼性を向上させ、情報の漏えい、改ざんを防止する。

※ URLが変更となる。http//… → https//…

(3) 区の魅力の積極的な発信

① シティプロモーション特設ページの運用

「東京で一番住みたくなるまち」として、住みやすい板橋区の魅力的な特徴や板橋らしさを積極的に発信するページを構築する。区に愛着をもち、区外からも興味や関心、親しみを持ってもらえる内容とする。

板橋区統合アプリ「ITA-Port」板橋区観光アプリ「ITA-マニア」など各種アプリの

情報をアピールし、利用者の拡大を促進する。併せて各種アプリと新ホームページが連携し補完しあうことで、若い世代への魅力発信を強化する。

② 参加型サイトの開設

インスタグラムによる区民等からの投稿写真を掲載し、区民参加による魅力の拡散をめざす。アクセスしたい、板橋区を訪れたいと思われるサイトとする。さらに、写真の投稿傾向を確認することで区民の情報ニーズを把握する。

また、投稿された写真は区の他の広報媒体でも活用することで、区民目線の魅力発信を実施していく。

③ イベントカレンダーの作成、公開

区の主なイベント情報をカテゴリーごとに時系列で探しやすくわかりやすく掲載したイベントカレンダーを作成、公開する。CMSでイベント情報ページを作成するだけで、自動的にイベントカレンダーに登録される運用しやすいものにするとともに、イベント参加者増加の効果を期待する。

(4) 災害・緊急事態への対応強化

① アクセス集中時の対応強化

アクセスが集中し、通信環境が悪い状況でも、サーバーの負荷を分散する仕組みを取り入れ、スムーズにホームページを利用できる安定した配信環境を整備する。

② 災害モードの運用

災害・緊急時の情報を迅速かつ正確に一元的に発信するため、表示しやすい、シンプルな災害モードのトップページを構築する。災害モードでは、トップページから、利用者が必要な情報をカテゴリーごと時系列に得られるレイアウトとし、誰もが緊急情報を取得できる環境を整備する。

③ 不測の事態への対応強化

災害発生場所や様々な緊急事態にも確実に情報を発信するため、本庁舎が執務困難な状況でもタブレット端末で、ホームページの更新を遠隔操作できる仕組みを構築する。

[区民の声収集システム]

(1) ユーザビリティの向上

① スマートフォン対応

現システムは、パソコンからの入力フォームのみのため、スマートフォンでは画面が小さく、投稿しにくい状況である。スマートフォン画面に適した問合せフォームを用意し、様々な媒体から投稿しやすくする。

② 投稿受信完了の通知

区民等からの投稿を受信した場合、自動的に投稿者に受信完了メッセージをメール通知できるようにし、投稿者へのサービス向上につなげる。

(2) 広聴機能の向上

① 「よくある質問と回答」の公開

区民の声収集システムに寄せられた質問、意見への回答を作成後、ホームページの「よくある質問と回答 (Q&A)」ページに容易に掲載できる機能を装備する。これにより、これまで、所管課で個別に作成していた、「よくある質問と回答」ページの増加充実を図り、区民の疑問、質問の解消につなげる。

② 統計機能の装備と活用

投稿された質問、意見と回答を統計、管理する機能を装備し、区民等からの意見の分析を容易にすることで、広聴機能を強化し、区民サービスの向上を図る。

4 スケジュール

元年 5 月	リニューアル作業開始 職員向けにアクセシビリティ向上に関する周知 (月 1 回程度)
6 月～9 月	既存コンテンツの整理、分類、アプリ・サブサイト主管課との調整、デザインの検討
9 月～11 月	既存コンテンツを新システムへ移行 運用ルールの検討
11 月	企画総務委員会報告
2 年 1 月	操作者研修 (ページ作成者、承認者)、管理者研修
2 月	仮稼働 (並行稼働期間)
3 月	新システム本稼働

i CMS (コンテンツマネジメントシステム) ホームページを作成・更新するためのソフト

ii ウェブアクセシビリティ 全ての人々が身体の機能や使用環境などの関わらず、ホームページで提供されている情報やサービスに支障なくアクセスすることができ、かつ利用できること

iii レベル AA JIS X 8341-3:2016 には見やすさ、操作しやすさ、解りやすさ等の 4 つの原則と 12 のガイドラインがあり、その下に詳細な達成基準が分類されている。それぞれ達成基準にはその重要度に応じた達成レベル (レベル A、レベル AA、レベル AAA) があり、公共サイトには AA の達成レベルが求められている。

iv SSL インターネット上でデータを暗号化して送受信する仕組み

v インスタグラム スマートフォンで写真や動画を容易に共有できるアプリやサービス